

# 4. 実践的診察能力

1. 患者の訴えや背景を理解し、身体所見に応じた病歴聴取や身体診察ができる。

A

クリニカル クラークシップ (CC)	選択クリニカル クラークシップ (CC)
--------------------------	----------------------------

基本臨床実習

B

C

医学入門)ユニット③医学入門
医学実地演習Ⅲ
医学実地演習Ⅱ
医学実地演習Ⅰ

臨床病態学

D

E

救急と生体管理	産婦人科学	運動・感覚	小児・思春期医学	行動科学Ⅲ	医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論	SGL (基礎科目)	基礎科学)ユニット①医療心理学
頭頸部・耳鼻咽喉科学	眼科	皮膚科学	形成・再建・再生		医学入門)ユニット②行動科学Ⅰ		基礎科学)ユニット④行動科学Ⅱ
精神医学	麻酔・集中管理・疼痛制御						
循環器	消化器	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺	神経・リハビリ				
放射線医学	内分泌・代謝・栄養	アレルギー・膠原病・免疫	血液・造血器				
腎・泌尿器	臨床医学への基礎医学的アプローチ	臨床医学総論	SGL (臨床科目)				

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 臨床病態学では、出席並びにディスカッションの内容から担当教員が観察評価する。

レベルC: 医学実地演習では指導教員、看護師による観察評価、レポートによる評価が行われる。SPや患者による形成的評価も行われる。医学入門③ではSP、同僚による形成的評価が行われる。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。新たに導入するCCポートフォリオを用いて主に態度・習慣を教員、上級生が評価する。

# 4.実践的診察能力

2.臨床推論を行い、疾患を診断できる。

A

クリニカル  
クラークシップ(CC)

選択クリニカル  
クラークシップ(CC)

基本臨床実習

B

SGL  
(臨床科目)

医学入門)ユ  
ニット③医学  
入門

C

社会医学

臨床病態学

SGL  
(基礎科目)

救急と生体  
管理

産婦人科学

運動・感覚

小児・思春期  
医学

頭頸部・耳鼻  
咽喉科学

眼科

皮膚科学

形成・再建・  
再生

精神医学

麻酔・集中管理・  
疼痛制御

循環器

消化器

呼吸器・感染・  
腫瘍・乳腺

神経・  
リハビリ

放射線医学

内分泌・代  
謝・栄養

アレルギー・  
膠原病・免疫

血液・造血器

腎・泌尿器

臨床医学  
総論

生化学・分子生  
物学(分子遺伝  
学)

E

臨床医学への  
基礎医学的アプ  
ローチ

医学実地演習  
Ⅲ

医学実地演習  
Ⅱ

医学入門)ユ  
ニット①医学教育カ  
リキュラム総論

医学実地演習  
Ⅰ

医学入門)ユ  
ニット②行動  
科学Ⅰ

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。SGL(基礎科目)ではTutorによる評価が行われる。

レベルC: 医学入門③ではレポートによる評価が行われる。

SGL(臨床科目)ではTutorによる評価、TBLにおいてはIRAT、GRATの成績と同僚評価が加味される。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPIによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて主に態度・習慣を教員、上級生が評価する。

# 4.実践的診察能力

3.検査計画を立案し、結果の医学的解釈から治療計画を立案できる。

A

クリニカル  
クラークシップ(CC)

選択クリニカル  
クラークシップ(CC)

基本臨床実習

B

SGL(臨床科目)

医学入門)ユニット  
③医学入門

生化学・分子生物  
学(分子遺伝学)

C

社会医学

臨床病態学

SGL  
(基礎科目)

救急と生体管理

産婦人科学

運動・感覚

小児・思春期  
医学

頭頸部・耳鼻  
咽喉科学

眼科

皮膚科学

形成・再建・再  
生

D

精神医学

麻酔・集中管理・  
疼痛制御

循環器

消化器

呼吸器・感染・  
腫瘍・乳腺

神経・リハビリ

放射線医学

内分泌・代  
謝・栄養

アレルギー・  
膠原病・免疫

血液・造血器

腎・泌尿器

E

臨床医学への  
基礎医学的アプ  
ローチ

医学実地演習  
Ⅲ

医学入門)ユニ  
ット①医学教育カ  
リキュラム総論

医学実地演習  
Ⅱ

医学入門)ユ  
ニット②行動  
科学Ⅰ

医学実地演習  
Ⅰ

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。SGL(基礎科目)ではTutorによる評価が行われる。

レベルC: 医学入門③ではレポートによる評価が行われる。生化学(分子遺伝学)では実習の観察記録、レポートによる評価が加わる。

SGL(臨床科目)ではTutorによる評価、TBLIにおいてはIRAT、GRATの成績と同僚評価が加味される。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員による評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて主に態度・習慣を教員、上級生が評価する。

# 4. 実践的診察能力

4. 基本的臨床手技ならびに救命救急処置ができる。

A

クリニカル クラークシップ (CC)	選択クリニカル クラークシップ (CC)
--------------------------	----------------------------

基本臨床実習

B

医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論

スポーツ科学)ユニット②スポーツ科学実習

C

臨床病態学			
救急と生体管理	産婦人科学	運動・感覚	小児・思春期医学
頭頸部・耳鼻咽喉科学	眼科	皮膚科学	形成・再建・再生
精神医学	麻酔・集中管理・疼痛制御		
循環器	消化器	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺	神経・リハビリ
放射線医学	内分泌・代謝・栄養	アレルギー・膠原病・免疫	血液・造血器
腎・泌尿器		臨床医学総論	SGL (臨床科目)

D

臨床医学への基礎医学的アプローチ

医学実地演習 III

医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論

SGL (基礎科目)

セミナー (選択14)

医学実地演習 II

医学入門)ユニット②行動科学 I

E

医学実地演習 I

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。SGL(臨床科目)ではTutorによる評価、TBLにおいてはIRAT、GRATの成績と同僚評価が加味される。

レベルC: 医学入門①ではBLS演習が行われ指導教員による観察評価が行われる。スポーツ科学では実習中の観察評価、レポート評価が行われる。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員による評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

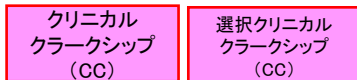
レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて主に態度・習慣を教員、上級生が評価する。

# 4. 実践的診察能力

5. 感染対策を含めた医療安全の基本概念を理解し、安心・安全な医療に寄与できる。

A



B



C



D



E



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。

レベルC: 医学実地演習 II、IIIでは指導教員による観察評価が行われる。医学入門③ではSP、同僚による形成的評価が行われる。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPIによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

医学実地演習 I では感染制御部教員による観察評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて主に態度・習慣を教員、上級生が評価する

# 4.実践的診察能力

6.治療効果・経過・患者満足度を評価し、適切な対応ができる。

A

クリニカル クラークシップ (CC)	選択クリニカル クラークシップ (CC)
--------------------------	----------------------------

基本臨床実習

B

C

医学実地演習 Ⅲ
医学実地演習 Ⅱ
医学実地演習 Ⅰ

臨床病態学

D

E

救急と生体 管理	産婦人科学	運動・感覚	小児・思春期 医学	医学入門)ユニ ット①医学教育カ リキュラム総論	SGL(基礎 科目)	基礎科学)ユニ ット①医療心理学
頭頸部・耳鼻 咽喉科学	眼科	皮膚科学	形成・再建・ 再生	医学入門)ユ ニット②行動 科学Ⅰ		スポーツ 科学
精神医学	麻酔・集中管理・ 疼痛制御			医学入門)ユ ニット③医学 入門		
循環器	消化器	呼吸器・感染・ 腫瘍・乳腺	神経・ リハビリ			
放射線医学	内分泌・代 謝・栄養	アレルギー・ 膠原病・免疫	血液・造血器			
腎・泌尿器	臨床医学への 基礎医学的アプ ローチ	臨床医学 総論	SGL (臨床科目)			

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 臨床病態学では、出席並びにディスカッションの内容から担当教員が観察評価する。

レベルC: 医学実地演習では指導教員、看護師、そして患者による観察評価、レポートによる評価が行われる。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPIによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて主に態度・習慣を教員、上級生が評価する。

# 4. 実践的診察能力

7. 病態に応じた適切なコンサルテーションができる。

- A
- クリニカルクラークシップ (CC)
  - 選択クリニカルクラークシップ (CC)

基本臨床実習

B

医学実地演習 II

医学実地演習 III

C

臨床病態学

臨床医学総論

基礎科学)ユニット④行動科学 II

スポーツ科学)ユニット①スポーツ科学

スポーツ科学)ユニット②スポーツ科学実習

D

E	救急と生体管理	産婦人科学	運動・感覚	小児・思春期医学	医学実地演習 I	医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論	SGL (基礎科目)	基礎科学)ユニット①医療心理学
	頭頸部・耳鼻咽喉科学	眼科	皮膚科学	形成・再建・再生	行動科学 III	医学入門)ユニット②行動科学 I		
	精神医学	麻酔・集中管理・疼痛制御			行動科学 IV	医学入門)ユニット③医学入門		
	循環器	消化器	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺	神経・リハビリ				
	放射線医学	内分泌・代謝・栄養	アレルギー・膠原病・免疫	血液・造血器				
	腎・泌尿器	臨床医学への基礎医学的アプローチ	SGL (臨床科目)					

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。  
 レベルD: 臨床病態学では、出席並びにディスカッションの内容から担当教員が観察評価する。医療倫理学、スポーツ科学ではレポート評価が行われる。臨床医学総論では客観試験で評価を行う。  
 レベルC: 医学実地演習 II、IIIでは指導教員による観察評価、レポートによる評価が行われる。  
 レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPIによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。  
 レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。新たに導入するCCポートフォリオを用いて主に態度・習慣を教員、上級生が評価する。

## 4. 実践的診察能力

8. 患者、家族を含むチーム医療の役割を理解し、その一員として多職種と円滑に連携して診療に参加することができる。

A クリニカル  
クラークシップ  
(CC) 選択クリニカル  
クラークシップ  
(CC)

B 基本臨床実習 医学実地演習Ⅲ  
医学実地演習Ⅱ  
医学実地演習Ⅰ

C 行動科学Ⅲ SGL(基礎科目)

D 臨床病態学 臨床医学総論 基礎科学)ユニット④行動科学Ⅱ

E

救急と生体管理	産婦人科学	運動・感覚	小児・思春期医学	医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論	基礎科学)ユニット①医療心理学
頭頸部・耳鼻咽喉科学	眼科	皮膚科学	形成・再建・再生	医学入門)ユニット②行動科学Ⅰ	人文社会科学)ユニット②-4 医療人類学/老年学
精神医学	麻酔・集中管理・疼痛制御			医学入門)ユニット③医学入門	
循環器	消化器	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺	神経・リハビリ		
放射線医学	内分泌・代謝・栄養	アレルギー・膠原病・免疫	血液・造血器		
腎・泌尿器	臨床医学への基礎医学的アプローチ	SGL(臨床科目)			

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 臨床病態学では、出席並びにディスカッションの内容から担当教員が観察評価する。医療倫理学ではレポート評価が行われる。

臨床医学総論では客観試験で評価を行う。

レベルC: 行動科学総論ではレポート評価、SGL(基礎医学)では薬学部教員、学生co-Tutorによるレポート評価が行われる。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

医学実地演習では指導教員、看護師らメディカルスタッフ、患者による観察評価、レポートによる評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて主に態度・習慣を教員、上級生が評価する